

テノール  
リカルド・タムラ

小森輝彦 コラボ・リサイタル ー 1

2017 10/12 (木)

小金井 宮地楽器ホール 大ホール  
JR 中央線 武蔵小金井駅前

18:30 開場 19:00 開演  
全席自由 4,000 円 (学生 2,500 円)

バリトン  
小森輝彦

メゾソプラノ  
山下牧子

G.ビゼー  
《カルメン》  
《真珠採り》

G.ヴェルディ  
《ドン・カルロ》

G.プッチーニ  
《エドガール》

etc...

運命の女にまつわるオペラの名シーンから

Terrence Fatale

ピアノ  
浅野菜生子

# Femme fatale

運命の女にまつわるオペラの名シーンから

小森輝彦 コラボ・リサイタル - 1  
Teruhiko Komori collaborative recital - 1



小森輝彦 バリトン Teruhiko KOMORI

私がドイツから引き揚げてちょうど5年が経とうとしています。

17年間のドイツでの生活を含む、約30年間の舞台人としての活動の中で、様々な想い、衝動、気付きの連続などが、私の中で溜るように溜まって来ていました。今、それらが出口を求めて声を上げているのが聞こえてきました。歌手として、表現者としての蓄積がその大部分ですが、一人のプライベートな人間として、また教育者や「日本人」としての魂から溢れてきたものも多くあります。

私が色々な場面で受けた恩恵、知識や経験などをこの世界に還元したい。出来たら利子をつけて。そのためには仲間力が必要と感じました。仲間とのコラボレーションを通じ、それらのエレメントが化学反応を起こすはず。

狭量な音楽モラル、ボーダーに縛られずオープンに接し合い、お互いの価値観を可能な限り深く理解し合うこと。それがもたらす果実に想いを馳せると、期待に胸が膨らみます。是非、この化学反応を皆さんに見届けていただきたいと思います。多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

——— 小森輝彦

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所、文化庁芸術家在外研修員として2年間ベルリン芸術大学に学ぶ。五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。日本人初のドイツ宮廷歌手。ブラハ国立歌劇場の《椿姫（ジェルモン）》で欧州デビュー。独アルテンブルク・ゲラ市立歌劇場で12シーズンに渡って専属第一バリトンを務めた。同劇場では、《リゴレット》に始まり、《ドン・ジョヴァンニ》《さまよえるオランダ人》《ナブッコ》《ヴォツェック》《トスカ（スカルピア）》《オテッロ（ヤーゴ）》などあらゆるプリンシパルを担い、「劇場を引っ張るスター・バリトン（ドイツ中部放送）」と評された。聴衆の投票による「テアター・オスカー」など各賞受賞。その他、ザルツブルク音楽祭《午後の曳航》、ミラノ・トリノ音楽祭《班女》をはじめ、欧州各地で演奏活動を展開。日本では東京二期会、新国立劇場、日生劇場、神奈川県民ホールで《マクベス》《リア》《ダナーの愛（ユピテル）》《フィガロの結婚（伯爵）》《ホフマン物語（リンドルフ他3役）》《沈黙（フェレイラ）》《金閣寺（溝口）》等に出演。演じた役は70を超える。コンサートレパートリーでは東京都交響楽団「マーラー・チクルス」における「さすらい若人の歌」（指揮ガリー・ベルティエニ、指揮エリアフ・インバル）などオーケストラとの共演も多い。今後のオペラ出演予定は、東京二期会《こうもり（アイゼンシュタイン）》、《ローエングリン（テルラメント）》など。東京音楽大学教授 二期会会員 www.teru.de

## 山下牧子 メゾソプラノ Makiko YAMASHITA



広島大学教育学部を経て、東京藝術大学大学院に学ぶ。東京音楽コンクール第1位。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。新国立劇場《軍人たち（シャルロット）》《ヴォツェック（マルグレーテ）》、東京二期会《蝶々夫人（スズキ）》《サロメ（ヘロディアス）》、日生劇場《メデア（クレオサ）》（日本初演）、東京二期会《アン・デア・ウィーン劇場との共同制作》《イドメネオ（イダマンテ）》等で好評を博し、2015年新国立劇場《椿姫（フローラ）》《沈黙（少年）》等にも出演。N響はじめ国内主要オーケストラとの共演も多く、ベートーヴェン「第九」、バッハ「短調ミサ」「マニフィカト」、ヘンデル「メサイア」、マーラー「復活」等、スケールの大きな歌唱と豊かな音楽性で高い評価を得ている。2016年東京二期会《トリスタンとイゾルデ（ブランゲンネ）》、12月NHK交響楽団《カルメン（メルセデス）》、2017年2月新国立劇場《蝶々夫人（スズキ）》、同年5月三河市民オペラ《イル・トロヴァトーレ（アズチーナ）》でも絶賛を博し、2017年10月東京二期会《蝶々夫人》にも出演予定。近年は12月31日大晦日恒例「ベートーヴェンは凄い！全交響曲連続演奏会「第九」（岩城宏之メモリアル・オーケストラ）アルトソロとしても出演を重ねている。二期会会員



## リカルド・タムラ テノール Ricardo TAMURA

日系二世の父、シリア系二世の母のもとサンパウロに生まれる。幼い頃から科学者の道を志し、サンパウロ大学で地理学と物理学で2つの学位を取得。国際的なプロジェクトに招かれるなど、研究者として将来を嘱望されていたが、勉学と並行して受けていたボイスレッスンの先生からオペラ歌手になるよう勧められ、サンパウロ歌劇場のオーディションを受けたところ合格。オペラ歌手としてのキャリアを歩むことになった。ジュリアード音楽院、チューリヒ歌劇場インターナショナル・オペラ・スタジオで学び、また、イタリアにてカルロ・ベンゴツィに師事、ルチア・アルパネーゼからも多くを学ぶ。ドイツにてデビュー後、欧州各地50に及ぶ歌劇場に出演。2013年にはメトロポリタン歌劇場に《トスカ（カヴァラドッシ）》でデビュー、以来定期的に出演している。当り役には、《オテッロ》《トゥーランドット（カラフ）》《椿姫（アルフレート）》《仮面舞踏会（リカルド）》《マノン・レスコー（デ・グリユー）》《アイーダ（ラダメス）》などがある。2008年には名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。2016年4月トッパンホールにて「大村博美、リカルド・タムラ、小森輝彦 ヴェルディ、プッチーニを歌う」で初来日し絶賛を博した。



## 浅野菜生子 ピアノ Naoko ASANO

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒。同大学声楽科伴奏研究員修了。これまでにピアノを金澤希伊子、須貝久子、C.ベンソン、室内楽を練木繁夫、磯恒夫、C.イヴァルディ、J.メニューイン、D.ヴェーベル、伴奏法を星野明子、I.ゲージの各氏に師事。声楽・器楽伴奏・オーケストラ鍵盤楽器奏者として活動を開始した。1996年に野村国際文化財団の奨学金を受けミラノへ渡り、コレパティトゥールとしての技術をカルロ・カメリーニ氏に師事。2001年3月よりロームミュージックファンデーションより奨学金を受け、再び渡伊、ローマで研鑽を積んだ。その間ローマ歌劇場や、スペイン・バルマ歌劇場（マジョルカ）で音楽スタッフとして公演に参加。「静岡国際オペラコンクール」で公式伴奏者を務めた。現在はオペラでの公演スタッフ、オーケストラ鍵盤楽器奏者、講習会でのピアニスト・通訳、リサイタルでの共演ピアニストとして幅広く活動。また、来日声楽家リサイタルにおいてそのサポートでアーティストからも高い評価を得ており、市原多朗、J.カレヤ、E.モシュク、E.メイ、C.アルペロ、N.ファンティエニ、E.オブラストワ、D.デッシー、F.アルミリアート、A.ロスト、M.ペルトウージ、L.ガッロ、A.シラダーザ、D.テオドッシュウ、等、国内外のアーティストの共演ピアニストとしても活躍の場を広げている。2006年スペイン音楽を中心としたライブ収録CD「ラテンの大地から」をリリース。藤原歌劇団団員 昭和音楽大学・大学院講師

2017 10/12 (木) 18:30 開場 19:00 開演

全自由席 4,000円 (学生 2,500円)

2017年6月12日(月) 発売開始

問合せ・チケット取扱い  
●二期会チケットセンター

TEL 03-3796-1831 FAX 03-3796-4710

受付時間: 平日10:00~18:00 土10:00~15:00/日・祝休業

チケット取扱い

●イープラス <http://eplus.jp>

●小金井宮地楽器ホール

2F事務局内チケットデスク (窓口のみ)

販売時間: 10:00~19:00 第2・第3火曜日 休業

G.ビゼー《カルメン》より  
アリアと二重唱（カルメン、ドン・ホセ）

G.ビゼー《真珠採り》より  
二重唱（ナディール、ズルガ）

G.プッチーニ《エドガール》より  
アリア（エドガール、フランク）

G.ヴェルディ《ドン・カルロ》より  
三重唱（エポリ、ドン・カルロ、ロドリゴ）

etc...

## 小金井 宮地楽器ホール大ホール

JR中央線 武蔵小金井駅 南口 すぐ

小田急バス・関東バス・西武バス・京王バス武蔵小金井駅 下車

※やむを得ぬ事情により出演者・プログラム等が変更になる場合がございますので予めご了承下さい  
後援・マネジメント 公益財団法人 東京二期会